

令和3年度高文連写真専門部撮影大会【新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン】

1 大会開催に関する基本対策

新型コロナウイルス感染症対策にあたり、沖縄県高等学校文化連盟（以下、「沖高文連」と記載）から通知された「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県高等学校文化連盟各大会等実施ガイドライン（2020年11月20日改正）」に基づき、以下の項目について万全の感染防止対策を講じた上で開催いたします。沖高文連のガイドラインは、沖高文連ホームページを参照してください。

- (1) 大会前後の健康観察確認（14日前からの検温等対策）
- (2) 開催規模（参加人数、観客人数等対策）
- (3) 開催場所（換気の状態等予防対策）
- (4) 開催期間・時間（同一空間での滞在時間対策）

これらの項目への具体的対策を行い、①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3条件（いわゆる「3つの密」）の回避に徹底して取り組み、大会を実施いたします。

保護者のみなさまにも、安全に開催ができるよう生徒の健康管理に細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

また、開催中に感染の状況（生徒・職員の感染や県内の感染拡大等）に応じて、大会を中止せざるを得ない場合もございますので、ご理解とご協力のほどよろしくをお願いいたします。

2 大会前後と大会開催時の具体的な感染防止対策

(1) 大会前後の対策

- ① 生徒は、別紙の「同意書」（様式1）を保護者連署のうえ、校長へ提出する。
- ② 生徒及び引率者は、高文連が提供する「健康観察シート」（様式2）を使用し、大会14日前から健康状態を記録する。（各学校で使用している様式がある場合は代用可）
- ③ 息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・発熱・風邪症状が一つでも出た場合は、学校を休むなどの感染防止を行い、場合によってはかかりつけ医等に受診する。
- ④ 上記③の症状が出た生徒においては、活動を中止し、健康観察を継続し、症状が治まった時点で活動を再開してもらう。
- ⑤ 大会参加当日も生徒及び引率者は自宅で検温及び健康チェックを行い、生徒は保護者の確認のうえ、「健康状態申告書」（様式3）を記入し、大会受付時に提出する。
- ⑥ 大会終了後2週間の健康観察を継続する。

(2) 大会開催時の対策

- ① 生徒の送迎は原則として保護者へ依頼する。やむを得ず学校バス等へ同乗させる場合は、人数制限をもうける・窓を開け換気を常に行う・マスクを着用し座席を離す・ドアノブなどを消毒する・乗車前に健康観察を行うなど配慮する。
- ② 基本的な感染症対策（咳エチケット、手指消毒、手洗い、マスク着用）を徹底する。
- ③ 密閉空間を避けるため、常時、会場内の換気を行う。

- ④ 生徒の密集を避けるため、ミーティングの時間短縮や回数を工夫する。
- ⑤ 撮影の際、被写体や通行者との適切な距離を確保する。
- ⑥ 帰宅後、生徒及び引率者に風邪症状や高熱等が出た場合には、症状の確認を行い、場合によっては医療機関を受診し、受診後は引率者を通して事務局へ連絡する。

(3) 大会の規模等を縮小した対策について

- ① 開閉会式・講評会及び表彰式を実施せず、審査結果は、後日学校宛てに通知する。
- ② 運営方法や発表方法（時間・人数）を短縮するなどの対策を講じる。

(4) 当日、生徒に発熱や風邪等の症状及び新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応について

- ① 発熱や風邪等の症状がみられる場合は大会出場を認めない。その場合、引率者には早急な帰宅の対応をお願いする。
- ② 大会期間中、大会参加者（生徒・職員・関係者含む）から感染者が出た際には大会を中止する場合がある。

3 大会参加申込について

- ① 生徒は、本ガイドラインを承諾し、保護者同意のもと「同意書」を学校へ提出する。
※大会参加は生徒と保護者の合意によるものであるため、相談の上で決めて下さい。

4 開催時間短縮への対応について

- ① 開会行事、閉会行事は行わない。
- ② 生徒交流会は行わない。
- ③ 生徒の密集を避けるため、撮影日程を二日間に分けて一日のみの参加とする。

5 体調不良者への対応について

- ① 大会期間中に、発熱等のかぜの症状を訴える大会参加者がいた場合は、速やかに帰宅させる。
- ② 必要と認めた場合は、速やかに医療機関及び保健所等へ連絡し、指示を受ける。

6 個人情報の管理について

- ① 収集した個人情報は、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用及び提供しない。
- ② 参加者、関係者のリストは、県の関係条例等に準じて管理するものとする。